

壇の岡

6月 9日(金) 第 8号
発行責任者
鮫川中学校長 角田敏文

教育目標

学ぶ心
よく学び自己を高める生徒
美しい心
心豊かで思いやりがある生徒
強い心
心身を鍛えたくましい生徒

まだまだつづく中体連

終わってしまった中体連
「はじめて一線が崩れて」

先日行われました県南中体連総合大会は、無事終了しました。保護者の皆さんも連日応援をいただきました。誠にありがとうございます。県大会出場を勝ち取った皆さん、県大会出場というごみ。上手に甘んじることなく、一つでも上位を目指して後一ヶ月、目標を明確にして練習に励むことを期待します。また、惜しくも練習の成果を出し切れなかった選手や涙は決して無駄ではなかったはずです。スポーツとは非情なもので、最後のチャンスを生かすことができた者だけが笑うことができます。ただ、そこまでの努力に優劣はありませぬ。ですから、これから次のチャンスを自分のものでするために、様々な道でこれからの努力を続けていくための涙を流してあげてください。

も三年生は、二年と数ヶ月たつて、初めて横一線が崩れることになりました。今までは、みんなが一つの目標である中体連に向かって歩調を進んできましたが、この目標からはそれだけ出たことになり、向かって歩かなくなりました。ある人は上位の大会を目指してまだ練習に励むことになり、駅伝の人たちはこれから格的に練習が始まることになり、正直言って私たち教師(顧問)のことも考えて、最後の試合(顧問の私生活)もあつた。多分、生徒のみなさんの心の中は、さあ、これから勉強と口先だけで言うか、これからはやばいことか、言えないのでは、という不安が、実行する事によって先も見えて

きます。今までの「目標↓計画↓実行」の繰り返しで部活動に取り組んできたのと同じ方法を、勉強の方に応用するときにきまじく、この方法を体得するためにも部活動をやってきたはずで、目標を達成できなかったことも、部活動で学んでいるはずで、才能がある人や、運がいい人、能力のある人だけが目標を達成できるのではなく、「小さなこと」を積み重ねてきた人こそが大きな目標を達成できるのだと思います。お子さんにコツコツと積み重ねるといふ行動を継続させて下さい。その行動の積み重ねが習慣化し、その習慣を身につけることができれば、3月に目指す結果として表れると確信しています。近道や最短距離ではなく、ちねい、計画し、実行に移すことが、受験には一番大切なことです。新人戦を目指し、二年生は、「理想を持って」「目標を明確にして」「計画を立て」「練習に励んでほしいです。」

週の行事予定

12月	職員会議・部活動中止
13日	223プラン全体研修会 部活動中止
14日	NO部活動デー
15日	定期テスト・部活動中止
16日	
17日	東白川郡223研修会
18日	さわやか高原ロードレース

チーム鮫中

・県南総合大会壮行会は、文芸部かい壮行会となりました。温かい大会では、部員一人一人が自分の役割を果たし、チーム一丸となつて闘うことができました。勝敗に関係なく、人生で大切な事を学んだのではないのでしょうか。これからは「チーム鮫中」がさらにアップグレードできるように支援して参ります。